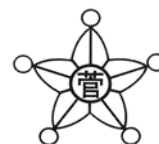


菅原小だより



第12号

枚方市立菅原小学校
校長 牧野 好秀

令和4年度 学校教育自己診断 集計結果 〈 児童アンケート 〉

昨年12月に学校教育自己診断（学校アンケート）として、児童アンケートを実施いたしましたので、集計結果を以下の通り、ご報告いたします。

アンケートの各質問項目に対して「A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない」の4段階評価での回答となっております。下記の表は回答結果の数値の小数点以下を四捨五入し、百分率で表示しています。また、「A：そう思う B：やや思う」を肯定的回答として、合算（A+B）した数値を表の右端欄に表示しています。尚、四捨五入した数値の表示のため、合計数値が100%になっていない質問項目がありますが、ご了承ください。

A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない

	質 問	A	B	C	D	A + B	
1	学校へ行くのが楽しい。	57	29	11	3	86	
2	先生や友達の話をしっかり聞いた。	57	34	9	0	91	
3	忘れ物をしないように気をつけた。	50	34	11	4	84	
4	友達や先生など、身の回りの人にあいさつができた。	54	28	14	4	82	
5	友達となかよく遊べた。	78	16	4	2	94	
6	給食はおいしく食べた。	79	14	6	1	93	
7	友達と協力し、清掃や給食などの係や当番の仕事がきちんとできた。	65	31	4	1	96	
8	みんなの物を大切にするように心がけた。	69	27	3	1	96	
9	集団登校や下校の約束をきちんと守った。	68	23	6	3	91	
10	学校のきまりを守っている。	63	31	4	2	94	
11	運動会や遠足、キャンプ、修学旅行などの学校行事は楽しい。	92	5	1	1	97	
12	台風や地震・火事などが起こったとき、どうしたらよいか教えてもらっている。	71	22	4	3	93	
13	落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる。	51	36	9	4	87	
14	先生は困ったときにいつでも相談にのってくれる。(学習でわからないところを教えてくれる)	67	25	5	3	92	
15	先生は、自分たちの意見や考えを大切にしている。	74	21	3	2	95	
16	授業は、わかりやすい。	73	22	3	2	95	
17	授業でよくタブレットを使っている。	50	39	9	2	89	
18	タブレットを使った授業はわかりやすい。	66	23	7	4	89	
19	授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されている。	70	25	3	2	95	
20	授業中、ペアやグループで話し合う活動を行っている。	64	29	5	2	93	
21	授業を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	45	38	14	3	83	
22	授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っている。	45	42	10	3	87	
23	授業や給食で、食の大切さを学んでいる。	72	23	4	1	95	
24	学校の図書室で本を借りて読んでいる。	60	20	12	9	80	
25	自分には、良いところがあると思う。	54	27	11	8	81	
26	自分の夢や目標を持っている。	71	16	6	8	87	
27	家で、学校の授業の復習をしている。	35	31	20	14	66	
28	家で、自分で課題を見つけて学習している。	38	32	18	11	70	
29	家で、自分で計画を立てて学習している。	40	32	17	11	72	
30	学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日どれくらいの時間、勉強をしていますか。①3時間以上 ②2～3時間 ③1～2時間 ④30分～1時間 ⑤30分以下 ⑥全くしない	①	②	③	④	⑤	⑥
		8	15	26	34	14	4

《アンケート結果についての考察》

1. 友だちとの関わりについて

肯定的回答

設問 4	「友達や先生など、身の回りの人にあいさつができた。」	82 %
設問 5	「友達となかよく遊べた」	94 %
設問 7	「友達と協力し、清掃や給食などの係や当番の仕事がきちんとできた」	96 %
設問 8	「みんなの物を大切にするように心がけた」	96 %

子どもたちは、「挨拶をすること」「友だちと仲よく遊ぶこと」「協力して係活動等の仕事をする」「共同で使うものを大切にすること」など、学校生活の中で友だちとの様々な関わりや集団活動を通して、子どもたち同士のより良い関係を構築するよう努めています。学校として、「挨拶することや感謝の気持ちなどを言葉や行動で表すこと」の大切さ等について、折に触れて、学級や児童朝会などで話をしています。ご家庭での子どもへのご指導等もあり、自ら進んで挨拶したり、感謝の言葉を伝えたりする子どもも増え、嬉しく感じています。

今後も、子どもたちが、「挨拶することを基本としたコミュニケーション」「約束を守ること」や「責任を持って行動すること」、そして「心や力を合わせて取り組むこと」などの行動や関係を大切にし、社会性が育まれ、成長へと繋がるよう、継続して働きかけていきたいと思えます。

ご家庭におかれましても、引き続き、ご指導いただけますよう、よろしく願いいたします。

2. 授業での学習状況等について

設問 1 3	「落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる」	87 %
設問 1 4	「先生は困ったときにいつでも相談にのってくれる。 (学習でわからないところを教えてくれる)」	92 %
設問 1 5	「先生は、自分たちの意見や考えを大切にしている」	95 %
設問 1 6	「授業は、わかりやすい」	95 %
設問 1 7	「授業でよくタブレットを使っている」	89 %
設問 1 8	「タブレットを使った授業はわかりやすい」	89 %
設問 1 9	「授業の中で目標 (めあて・ねらい) が示されている」	95 %
設問 2 0	「授業中、ペアやグループで話し合う活動を行っている。」	93 %
設問 2 1	「授業を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」	83 %
設問 2 2	「授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っている」	87 %

教員が、それぞれの授業でタブレット等の ICT 機器をを用いたり、指導方法等を工夫したりして、「わかりやすい授業」をめざし、子どもたちが、興味・関心を持てるよう進めているところです。また、子どもたちも、意欲的、積極的に授業に参加し、様々な取り組みや学習を深めるよう努めています。その姿は、高学年へと上がるほど、集中度が高まり、ペアやグループでの話し合う活動においてもしっかりと意見交流ができ、自分の考えを深めたり、広めたりすることができています。

今後も、「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力・人間性等」など、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けられるよう、学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、取り組んでまいります。そのためにも「信頼関係に基づく温かな学級づくり」や「落ち着いた雰囲気の中での授業」をしっかりめざし、子どもたち一人ひとりを大切にしたいと思えます。

3. 家庭学習について

肯定的回答

設問27「家で、学校の授業の復習をしている」	66 %		
設問28「家で、自分で課題を見つけて学習している」	70 %		
設問29「家で、自分で計画を立てて学習している」	72 %		
設問30「普段（月～金）、1日どれくらいの時間、勉強をしていますか」			
①3時間以上	8 %	②2～3時間	15 %
③1～2時間	26 %	④30分～1時間	34 %
⑤30分以下	14 %	⑥全くしない	4 %

家庭学習は、学校で学んだ知識や技能を定着させることや自分の課題の克服を意識して学習すること、さらには、学んだことを日常生活につなげることだと考えます。学んで得た知識や技能を様々な場面で活用することで知識が整理され、繰り返し取り組む中でスムーズに、そして上手く進めることができるようになり、さらに技能も高まります。

現在、3年生から6年生では、家庭での自主学習として、子ども自身が学習内容を考え、自主的に学習に取り組んでいます。その自主学習ノートは学級担任へ提出し、毎月、好事例を廊下に掲示して、他の子どもたちに紹介しています。

今後も、自主的・自発的に「課題を見つけて学習」したり、「計画を立てて学習」したり、「授業の復習」等に取り組んだりできるよう、ご家庭の協力をいただきながら、子どもたちへ働きかけていきたいと思ひます。

4. 児童自身について

設問25「自分には、良いところがあると思う」	81 %
設問26「自分の夢や目標を持っている」	87 %

令和4年度全国学力学習状況調査（6年生対象）における同様の質問に対する肯定的回答は、全国的平均として、どちらも約80%の結果でした。本アンケートの対象は、全校児童であり、その違いはありますが、同程度あるいはそれ以上の結果となっています。すべての教育活動（授業、行事、係活動や清掃活動等）を通して、教職員と子ども、子ども同士の間で温かい人間関係の中で、やるべきことは最後までやり通していくことの大切さや楽しさを学んでいます。

今後も、様々な取り組みの中で、子どもたちの頑張り、成長や良い面などを認め、子どもが自分自身の良さ（肯定的な面）に気付くよう働きかけるなど、子どもの自己肯定感や自己有用感を育てていきたいと思ひます。また様々な活動や取り組みの中で小さな目標を持ち取り組んでいくことで、自信を付けたり、失敗をしても再挑戦したり、忍耐強く取り組んだりなど、「生きる力」を少しずつ身に付け、将来を見据えた夢や目標を抱くことができるよう、教育活動を進めていきたいと思ひます。

5. 給食や「食」について

肯定的回答

設問 6 「給食はおいしく食べた。」

93 %

設問 2 3 「授業や給食で、食の大切さを学んでいる。」

95 %

毎日の給食では、給食当番の子どもたちが給食室にクラス分の給食を取りに行きます。その際に、栄養士の先生から、給食についての簡単な説明があり、子どもたちからは、「いただきます」、「ありがとうございます」などおいしい給食を作ってくれた栄養士さんや調理員さんたちに、感謝の気持ちを伝えています。栄養士の先生から、「食育」の授業を一部の学年で行ったり、調理員さんたちの調理する様子を動画で配信したりなど、子どもたちに「食べることの大切さ」が伝わるよう工夫しています。また、本年度はPTA主催の「食育」に係る「映画」が上映されたことも、子どもたちが「食べること」や「食べ残さないこと」をしっかりと学んだ良い機会となったと思います。

今後も、食育は、生きる上での基本であり、「知育・徳育・体育」の基礎と位置付けると共に、子どもたちが健全な食生活を実践できるよう働きかけていきたいと思ひます。

6. 学校生活全般について

設問 1 「学校へ行くのが楽しい」

86 %

設問 1 1 「運動会や遠足、キャンプ、修学旅行などの学校行事は楽しい」

97 %

多くの子どもたちが、様々な学校行事や学年行事、また係活動なども協力し、懸命に取り組んでいます。子どもたちは、それらの取組みや経験から色々なことを学んでいます。様々な取組みの過程において、子ども同士で揉めたり、折り合いよく進めることができなかつたりなど、上手く進めることができないこともあります。そのような場合にも、その問題や関係を修復する方法や力を身に付けることもとても大切であり、そのことを学びながら学校生活を送っています。

そのような状況の中でも、子どもたちが企画したり、製作したり、運営したりするなど、主体的かつ積極的に活動することも多くあり、そこには、子どもたちの工夫や頑張りがあり、喜びや楽しみだけでなく、達成感や充実感を感じている姿をよく見かけます。

今後も、子どもたちの様々な成長に向けて、子どもたちと教職員が一緒になって築く学校生活の中で、前向きな気持ちと行動が実現できるよう、懸命に取り組んでまいりたいと思ひます。

最後に、本年度のアンケート結果では、すべての設問において、肯定的回答が、昨年度の回答結果より、同程度以上の良好な結果となっています。そのような回答結果については、保護者の皆様の協力をいただきながら、学校と家庭が連携し、教育活動を進め、子どもたちも教職員との信頼関係のもと、楽しく、懸命に取り組んでくれた表れだと感じています。

今後も、子ども同士及び子どもと教職員との豊かな人間関係の中で、充実した学校生活の中に「感動」や「発見」があり、「わかる」「できる」の喜びを感じることができる「楽しい学校」となるよう、そして、教育目標『よく学び、よく遊び、思いやりの心を大切にする菅原小の子どもたち』の実現に向けて、教職員が心をつなげて、ご家庭と連携し、教育活動の充実に取り組んでまいります。

保護者の皆様、引き続き、ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。